



知る



考える



静岡市 環境教育行動計画

2021年度～2030年度



感じる



やってみる



はじめに

近年、世界各地で様々な環境問題が発生し、深刻化しています。例えば、地球温暖化や生物多様性の喪失、海洋プラスチックごみによる海洋汚染等の問題が進行し、地球環境は危機的状況に瀕^{ひん}しています。

このような環境問題は、私たちが便利な生活を追い求めた結果、化石燃料をはじめとする大量の資源を消費する生活スタイルが定着し、地球環境に多大な負担をかけていることに起因しています。そして、このような問題がさらに進行した場合、自然環境や生態系を脅かすだけでなく、地球温暖化の影響による災害の頻発、激甚化等により、私たちの生活にも大きな影響を及ぼすことが懸念されます。これらの問題に対応していくためには、私たち一人ひとりが環境問題に向き合い、意識やライフスタイルを転換していくことが不可欠であり、このような行動ができる人材を育む「環境教育」がより一層重要となります。

国際社会では、平成 27（2015）年、国連サミットで「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、国際的に解決すべき 17 のゴール及び 169 のターゲットから構成される持続可能な開発目標（SDGs）が打ち出されました。この中には、地球環境そのものの課題や、環境問題と密接に関わるゴールが数多く含まれており、地球や地域における環境の持続可能性を高めていくことが、国際的な共通認識となっています。

また、令和 2（2020）年に世界規模で感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の発生によって、「新たな生活様式」への転換が求められるなど、私たちの生活そのものの持続可能性、さらには環境について改めて課題を指摘する動きも見られました。

このような世界的潮流と、第 3 次静岡市総合計画（平成 27（2015）年）及び第 2 次静岡市環境基本計画（平成 27（2015）年）等に即して取り組んできた様々な施策の成果を踏まえ、平成 19（2007）年に策定した静岡市環境教育基本方針を見直し、新たに静岡市環境教育行動計画を策定することとしました。

本計画では、本市の環境教育を総合的かつ体系的に進めるため、家庭・地域、学校、市民活動団体、企業、行政などの各主体がそれぞれの担うべき役割を認識した上で、連携・協働による環境教育を継続的に進めていくための具体的な施策等を示します。

今後は、本計画に基づき、行政のみならず、関連する各主体とともに環境教育を推進し、市民が一丸となって環境活動に取り組むまちを目指していきます。

令和 3（2021）年 3 月

静岡市長 田辺 信宏

計画の構成

マーク (💡) がついている部分は、市民の皆さんに特に読んでいただきたいページです。

第1章 計画の基本的事項 (1ページ)

- ◆環境教育とは？
- ◆環境教育の必要性
- ◆計画の目的
- ◆対象者
- ◆計画期間

第2章 静岡市における環境教育の現状と課題 (10ページ)

- ◆静岡市における環境面・社会面の現状
- ◆各主体による取組の現状
- ◆静岡市における環境教育の現状
- ◆静岡市における環境教育の課題

第3章 環境教育の将来像 (20ページ)

- ◆静岡市が目指す環境教育の将来像
- ◆市全体で進めるべき環境教育の方向性
- ◆成果指標

第4章 各主体に期待する役割 (26ページ)

- ◆各主体に期待する役割 (💡)
- ◆環境教育の視点
- ◆環境教育とSDGsの関わり
- ◆各主体の協働のイメージ

第5章 行政(静岡市)の政策体系 (40ページ)

- ◆基本方針
- ◆政策体系
- ◆施策の展開 (💡)
- 基本方針1:支える
- 基本方針2:育む
- 基本方針3:つなげる

第6章 計画の推進体制 (59ページ)

- ◆推進体制
- ◆計画の評価と見直し

登場人物



はなちゃん
静岡市の小学校に通う女の子



はなちゃんのお父さん
静岡市の企業に勤めている



静岡市の職員
楽しく環境を学べるまちにしたいと思っている

目次

第1章 計画の基本的事項	1
1 環境教育とは？	1
2 環境教育の必要性	2
3 一生涯を通じた環境教育	3
4 これまでの行政（静岡市）の取組	4
5 「静岡市環境教育行動計画」策定の背景	5
（1）持続可能な開発目標（SDGs）との関係	5
（2）学習指導要領の改訂との関係	8
6 計画の目的	8
7 対象者	9
8 計画期間	9
第2章 静岡市における環境教育の現状と課題	10
1 静岡市における環境面・社会面の現状	10
（1）多彩な都市環境	10
（2）誇るべき地域資源	10
（3）人口減少と人口構造の変化	11
（4）市民と自然環境との関わり	11
（5）市民性と社会貢献意識について	11
2 各主体による取組の現状	12
（1）家庭・地域	12
（2）幼稚園・保育所・認定こども園	13
（3）小中学校	14
（4）高等学校	15
（5）大学等	15
（6）市民活動団体（NPO等）	16
（7）企業	16
3 静岡市における環境教育の現状	17
4 静岡市における環境教育の課題	19

第3章 環境教育の将来像	20
1 静岡市が目指す環境教育の将来像	20
(1) まちの将来像	20
(2) 静岡市が目指す環境教育の将来像	20
(3) 市民の目指す姿	20
(4) 市民に醸成したい意識及び態度	21
(5) 静岡市が目指す環境教育の将来像（イメージ図）	21
2 市全体で進めるべき環境教育の方向性	22
(1) 段階に応じた効果的な取組	22
(2) これからの環境教育で育みたい力とその手法	24
3 成果指標	25
(1) 総合指標	25
(2) 補助指標	25

第4章 各主体に期待する役割	26
1 各主体に期待する役割	26
(1) 家庭・地域	26
(2) 学校等（幼稚園・保育所・認定こども園、小中学校、高等学校、大学等）	28
(3) 市民活動団体（NPO等）	30
(4) 企業	31
(5) 行政（静岡市）	33
2 環境教育の視点	34
(1) 全ての人が自ら進んで取り組む	34
(2) 命の大切さを伝える	34
(3) 地域とのつながり	34
(4) 体験を通じた学び	35
(5) 豊富で多様な地域資源を生かす	35
(6) ESDやSDGs、STEMを意識して総合的に学ぶ	35
3 環境教育と持続可能な開発目標（SDGs）の関わり	36
(1) 環境教育と持続可能な開発目標（SDGs）の関わり	36
(2) 持続可能な開発のための教育（ESD）	36
(3) ESDに向けた環境教育の考え方	36
4 各主体の協働のイメージ	39

第5章 行政（静岡市）の政策体系	40
1 基本方針	40
2 政策体系	42
3 施策の展開	43
基本方針1：支える	43
基本方針2：育む	50
基本方針3：つなげる～横断的な取組～	55

第6章 計画の推進体制	59
1 推進体制	59
2 計画の評価と見直し	59

資料編	61
1 用語集	61
2 計画策定の経過	65
3 委員名簿	65